

## 平成 25 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

### 1 集落協定の概要

都道県名：愛媛県

市町村名：松山市

協定締結集落名：釣島集落

交付金額：1, 360 千円

協定参加世帯数：10 人（うち漁業世帯 10 人）

### 2 協定締結の経緯

釣島集落は、良好な漁場を有し、刺し網漁業等が盛んに行われており、漁業は島の基幹産業となっている。しかし、近年は、漁業者の減少や高齢化が進行している。

また、魚価の低迷に加え燃料費の高騰により、離島の漁業集落を取り巻く環境は、厳しい状況におかれている。こうしたことから、沿岸漁業資源の維持・増大、漁場環境の保全、ヒジキの簡易加工に取り組むなど、漁業集落の活性化、所得の向上を目指して離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

### 3 取組の内容

#### ①漁場の生産力の向上に関する取組状況

- ・アカウニの放流を実施し、資源の保護育成に努めた。（15,000 個）
- ・景観や自然環境を保全するため、集落周辺の海岸清掃を実施した。（年間 1 回）
- ・ヒジキブロックを投入した後の追跡調査を行った。（年間 1 回）
- ・密漁や違反操業又は違反漁具の使用等から地先資源の保護及び漁具の保全を図るため、漁場監視及び夜間監視を行った。（年間 39 回）

#### ②集落の創意工夫を活かした取組状況

- ・ヒジキの加工販売を促進するため、大分県佐伯市の加工施設で研修を実施した。
- ・アオリイカの一夜干し等加工品を作製し、島外からイベントで訪れた人に販売を行った。

### 4 取組の成果

- ・アカウニの放流を実施することにより、資源保護、育成が図られた。
- ・海岸清掃することにより、自然環境の保全が図れた。
- ・漁場監視を強化することにより、密漁の防止が期待され、漁獲量の増加や資源の保護が見込まれる。
- ・島外者に対し水産物加工品の販売をすることで島の PR が図れた。また、ヒジキ加工

品の販売に取り組むため、先進地の研修を実施し加工技術の取得を図った。

種苗放流



漁場監視



水産物加工品イベント販売



水産物加工品イベント販売

